

安全データシート

作成日:2021年10月1日
バージョン 1.0
改訂日:2022年10月1日
バージョン 1.1

SECTION 1:

製品名	セレック テセラ
会社名	デンツプライシロナ株式会社
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 2 1 番 1 号 住友不動産汐留浜離宮ビル
担当部門	信頼性保証本部
電話番号	03-6264-2802
FAX番号	03-6264-2773
推奨用途	歯科修復物製作材料

SECTION 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質又は混合物の分類

規則 (EC) No.1272/2008 [CLP]による分類

規則 (EC) No.1272/2008 による危険な混合物ではない。

2.2. GHSラベル要素

(EU) 1272/2008に基づく表示

法的根拠 EU-CLP条例(1272/2008)では、表示は必要ない。

2.3. 他の危険情報

製品の粉塵が放出された場合：粉塵を長期間吸入することにより、肺に影響を及ぼす危険性がある。

PBT/vPvB評価は、化学的安全性評価が必要ない/実施されていないため、利用できない。

SECTION 3: 組成及び成分情報

化学的性質

セラミックス、混合物に含まれるもの：ガラス質ポーセレン

3.1. 物質

二酸化ケイ素 <70

3.2. 混合物

SECTION 4: 応急措置

4.1. 必要な応急措置の説明

吸入

製品の粉塵が放出された場合：
空気の新鮮な場所へ移動する。

皮膚

製品の粉塵が放出された場合：
十分な水で洗う。

眼

製品の粉塵が放出された場合：
眼を開けたまま十分な水で洗い流す。
眼の刺激が続く場合は、専門家に相談する。

経口摂取

口をすすぐ。
不快感がある場合：医師の治療を受ける。

4.2. 最も重要な急性および遅発症状/影響

症状

不明

危険有害性

不明

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

対症療法を行う。

SECTION 5: 火災時の措置

5.1. 適切な消火剤

適した消火剤 全ての消火剤

5.2. 化学品から生じる特定の危険性

分解ガスや有害ガスを吸い込まない。

5.3. 消防士用の特別な防具と予防措置

消火方法は場所に応じて調整する。
製品自体は燃えない。
保護具：特別な措置は必要なし。

SECTION 6: 漏出時の措置

6.1. 人への予防措置、防具、および応急処置法

製品の粉塵が放出された場合：
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。

6.2. 環境上の予防措置

土壌、天然水域、下水道への流入を防止しなければならない。

6.3. 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

機械運搬用具を使用する。
吸収された物質は、規則に従って廃棄する。

6.4. 他セクションへの参照

個人用保護具の着用：SECTION 8を参照。

廃棄に関する注意事項：SECTION 13を参照。

SECTION 7: 取扱いおよび保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

製品の粉塵が放出された場合：

粉塵を吸込まない。

適切に処理されていれば、特別な措置は必要ない。

粉塵が発生した場合：

個人用保護具

7.2. 混触危険性を含む、安全な保管条件

火災・爆発からの保護に関するアドバイス

火災予防のための通常の措置。

保管方法

箱をしっかりと閉め、乾燥した状態で保管する。

7.3. 特定の最終用途

SECTION 1で報告されたデータを超える特定の最終用途があることは認識していない。

SECTION 8: ばく露防止および保護措置

8.1. 管理パラメーター

8.2. 適切な工学的管理方法

工学的管理方法

製品の粉塵が放出された場合：局所排気を行う。

保護具

呼吸器の保護

製品の粉塵が放出された場合：粉塵を吸込まない。EN 149 FFP3に準拠した防塵マスク

手の保護

必要なし。

眼/顔面の保護

サイドシールド付きの安全眼鏡、粉塵が発生した場合：バスケット型の眼鏡

皮膚の保護具

必要なし。

衛生対策

作業中は飲食、喫煙、鼻をかむことはしない。休憩前や作業終了時には、手や顔を洗う。

SECTION 9: 物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的および化学的性質の情報

外観

形状	シリンダー、ブロック
色	染色の結果による
臭い	無臭

臭気閾値	該当なし
pH	該当なし (固体)
融解点/凝固点	該当なし
沸点または初留点および 沸点範囲	該当なし (固体)
引火点	引火しない
蒸発率	該当なし
可燃性(固体、気体)	引火性なし
爆発下限	該当なし
爆発上限	該当なし
蒸気圧	該当なし
蒸気密度	該当なし
密度	約 2.5 g/cm ³
水への溶解	不溶性
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	該当なし
自然発火	自然発火や加熱の能力はない。
分解温度	該当なし
粘度	該当なし
動粘度	該当なし
爆発性	該当なし
酸化性	酸化しない

9.2. その他情報

その他情報

これ以上の物理化学的データは得られなかった。

SECTION 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応

データなし

10.2. 化学的安定性

製品は化学的に安定している。

10.3. 危険反応の可能性

危険反応の可能性

危険な反応はない。

10.4. 回避すべき条件

制限なし。

10.5. 互換性のない材料

不明

10.6. 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物の製品ではない

SECTION 11: 有害性情報**11.1. 有害性作用情報**

本製品の動物実験の結果はない。

急性経口毒性 不明

急性吸入毒性 不明

急性経皮毒性 不明

皮膚刺激 不明

眼刺激 不明

感作性 不明

反復投与毒性 不明

STOT – 単回ばく露 不明

STOT – 反復ばく露 不明

誤嚥性毒性のリスク 該当なし

変異原性評価 不明

発がん性 不明

生殖毒性 不明

ヒトより得られた証拠 通常使用での健康被害は不明または予測されていない

その他情報 適切に取扱いおよび保管されていれば、危険な反応はない。
粉塵を長期間吸入した場合、肺に感染する危険性がある。

SECTION 12: 環境影響情報**12.1. 毒性**

本製品の生態毒性データはない。

12.2. 残留性と分解性

生分解性 不明

12.3. 生物蓄積性

生物蓄積 不明

12.4. 土壤中の移動性

移動性 不明

12.5. PBT及びvPvB評価結果

PBT/vPvB評価は、化学的安全性評価が必要ない/実施されていないため、利用できない。

12.6. 他の有害影響

その他の情報 水に溶けないため、データはない。
下水道、地面、自然の水域に到達させない。

SECTION 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄方法

SECTION 14: 輸送上の注意

輸送規制上、危険ではない。

14.1. 国連番号：	--
14.2. 国連出荷名：	--
14.3. 輸送時の危険性クラス：	--
14.4. 容器等級：	--
14.5. 環境有害性：	--
14.6. 使用者のための特別予防措	なし

SECTION 15: 適用法令

15.1. 該当製品に特有な安全、健康および環境に関する規制

二酸化ケイ素：労働安全衛生法 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（別表9の312）
酸化ジルコニウム：労働安全衛生法 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（別表第9の313）
酸化イットリウム：労働安全衛生法 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（別表第9の54）

15.2. 化学物質安全性評価

化学物質安全性評価 本製品については、REACH規則eの第2条(8)、第2条(9)、第14条に基づく化学物質安全性報告は必要ない。